松山東雲女子大学
松山東雲短期大学

PRESS RELEASE

2025年4月16日

報道関係者 各位

取材のお願い

女性のからだに関する講話
～プレコンセプションケアは未来の自分への投資～

この度、松山東雲女子大学・松山東雲短期大学では、昨年度に続き、松山市 こども家庭センター すくすく支援課の方を講師にお招きし、主に新入生を対象に、「プレコンセプションケア」を中心とした女性のからだに関する講話を行います。

日　時 ： 2025年４月22日（火）9：20～10：00
場　所 ： 本学 愛真館2階 チャペル（松山市桑原3-2-1）
対　象 ： 新入生 他　約150名

プレコンセプションケアとは

若い世代の人が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うことです。将来にわたって健康を維持することが、よりよい人生を送るためのケアでもあり、それが、次世代の子どもの健康にもつながるという考えです。

プレコンセプションケアは**「健康」「女性の社会進出」「ジェンダー平等」**など多岐に渡る分野での社会課題につながっています。

こども家庭庁では、「プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会」が設置され、支援体制の強化について議論されています。

若いうちから知っておきたいプレコンセプションケア

大学生は、将来のライフプランや健康について考え始める時期です。しかし、プレコンセプションケアの**認知度は非常に低く、昨年の参加者アンケートではわずか2%にとどまりました。**

昨年度の講話では、早産や妊娠高血圧症候群をはじめとする「リスクのある出産」や「不妊の増加」が年々増えている現状についてご紹介いただきました。また、妊娠を望むかどうかに関わらず、予防の観点から若いうちから生活習慣を整えることの重要性、生涯にわたって充実した生活を送るための健康管理の大切さについてもお話がありました。

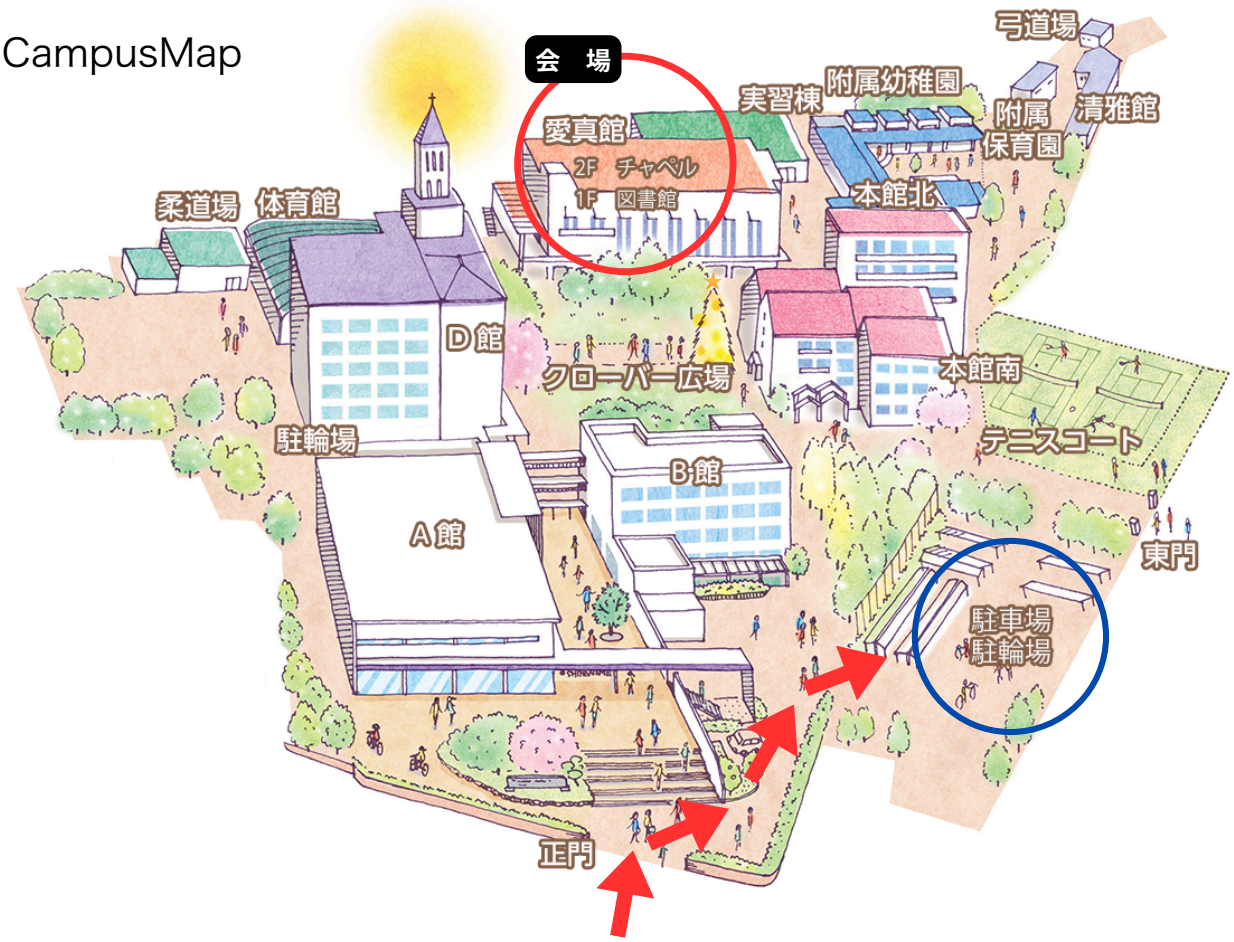
松山市の取り組み・本学の取り組み

松山市ではプレコンセプションケアの推進に力を入れており、医療機関や検診機関で実施される「プレコンチェック」（血液検査・子宮頸がん検診など）にかかる費用を助成する事業を行っています。本学でも独自の取り組みとして、学生を対象に定期的に**助産師による「からだの相談日」**を設けており、心身のケアを行っております。

学生の健康意識を育て、将来の福祉・教育の現場へ

本学の学びの中には幼児教育や社会福祉、食物栄養といった、人の暮らしや健康に深く関わる分野も含まれています。プレコンセプションケアを学ぶことは、学生自身の健康意識を高めるだけでなく、将来、子どもや家庭の健康を支える立場になる可能性のある学生たちにとって、大きな意義を持つものです。ぜひこの機会に取材をご検討いただけますと幸いです。

CampusMap



取材の際は事前にご連絡いただけますと幸いです。

当日は、直接会場までお越しください。場所がご不明な場合は、駐車場からお電話いただければ、こちらからお迎えにまいります。

【お問い合わせ・ご連絡先】

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 広報

松山市桑原3丁目2-1 電話：089-931-6211(代)
Mail：kouhou@shinonome.ac.jp

note
https://note.com/ready_fowl3292